

USB 2.0/1.1 CD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

LCW-B52U2/W

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第1章 ご使用の前に	7
1.1 本製品の特徴	7
1.2 使用上のご注意	9
1.3 各部の名称	11
第2章 接続について	12
2.1 接続の前に	12
2.2 接続の手順	13
2.3 接続結果の確認	14
2.4 USBドライバのインストール	15
2.5 ソフトウェアのインストール	17
第3章 取り扱いについて	19
3.1 メディアのセット/取り出しについて	19
3.2 本製品を取り外す場合は	21
第4章 補足事項	23
4.1 トラブルシューティング	23
4.2 デバイス上の登録名について	25
4.3 Windows XPで直接書き込みを行う場合	26
4.4 使用環境について	27
4.5 その他	29
ハードウェア仕様	30

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属の物を使用し、ACアダプタのプラグは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近く、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあたると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部をのぞいたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。

機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。

タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



注意

本製品の稼動中にACアダプタのコード、ケーブル類を抜かないでください。データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて
本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

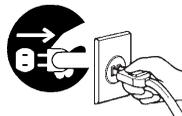
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は、5秒以上たってから「ON」にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いておいてください。



オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換 / 保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください。



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®、Celeron®は米国Intel社の登録商標です。WinCDR Liteは株式会社アプリックスの商標です。Superlink™は、MediaTek Incorporationの登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
USBケーブル (USB 2.0 High-Speed対応)	1本
ACアダプタ	1個
縦置き用ゴム足	1セット
ミニクランプ	1個
「Software Pack」CD-ROM	
(以下のソフトウェア・ドライバ含む)	
「WinCDR Lite」	一式
「Windows 98用USBドライバ」	一式
保証書/ユーザー登録カード	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第 1 章

ご使用の前に

1 . 1 本製品の特徴

本製品は USB 2.0 接続で CD-R メディアへの最大 52 倍速書き込みに対応した CD-R/RW ユニットです。Ultra Speed タイプの CD-RW メディアにも対応しておりますので、最大 32 倍速での書き換えを行うことができます。

- ・ CD-R/CD-RW メディア書き込みの際のバッファアンダーランエラーを防止する SuperLink™ 機能を搭載していますので、高速書き込み時も安定して書き込みを行います。
- ・ CD-R/RW で使用頻度の高い「バックアップ機能」「ISO 9660 (データ) 書き込み」「オーディオ CD 書き込み」の機能を提供するアップリックス社製のライティングソフトウェア「WinCDR Lite」を付属しています。「WinCDR Lite」はこれらの機能をクリックだけの簡単操作で使いこなすことのできるライティングソフトウェアです。
- ・ Windows XP では「エクスプローラ上での書き込み」「Windows Media Player 上からの書き込み」に対応しています。「エクスプローラ上からの書き込み」では CD-R、CD-RW メディアに対してライティングソフトウェアを使用することなくファイルをコピーする感覚で、データ CD、オーディオ CD の書き込みが可能です。

対応する書き込み方式

「Disc at once」	量産 CD-ROM のプレマスタ作成を行う場合などに使用します。
「Track at once」	追記書き込みを可能にします。
「Session at once」	付属ライティングソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合等に使用します。
「Packet Write」	擬似的なランダムアクセスを可能にします。(本製品には Packet Write を使用するソフトウェアは付属していません。)

WinCDR Lite では、ISO9660 は「Track at once」、AudioCD は「Disc at once」と規格により書き込み方式が固定されます。

書き込み・読み込み速度について

本製品では各メディアに対して、以下の書き込み・読み込みが可能です。

書き込み	CD-R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD-RW	Ultra Speed	32 倍速、24 倍速、20 倍速 16 倍速、10 倍速
		High Speed	12 倍速、10 倍速
		Muti Speed	4 倍速
読み込み	CD-ROM	最大52倍速	
	CD-R	最大40倍速	
	CD-RW		

CD-RW メディアで 32 倍速、24 倍速、20 倍速、16 倍速、10 倍速での書き込みを行う場合は Ultra Speed 対応のメディアを、12 倍速、10 倍速での書き込みを行う場合は High Speed 対応のメディアを必ずご使用ください。

CD-R メディアで 52 倍速、48 倍速書き込みを行う場合は、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。(対応メディアについては、「4.4 使用環境について-推奨メディア」をご参照ください)

USB 1.1 接続時には書き込み読み込みともに最大 8 倍相当となります。(CD-RW メディアの Multi Speed タイプは最大 4 倍速相当。)

特色

- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 約 1,000 回までの書き換えが可能なメディアです。

1.2 使用上のご注意

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
水平・垂直方向にて設置してください。(次ページの設置方向についてをご参照ください)

移動・輸送の際は...

本機を移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後、必ず本製品の電源をお切りください。
本機を移動や輸送するときは、落としたり、ぶつかけたりしないでください。

ご使用の際は...

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります)
トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)
本機を垂直方向に設置した場合は8cmディスクは使用しないでください。
無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因になります)
本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)
本製品が結露した状態で使用しないでください。
(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になります)
隣接しているテレビやラジオに雑音が入るときは、2m以上離すか、コンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長時間使用すると、本製品のレンズやメディア側にほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。
使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れの際は...

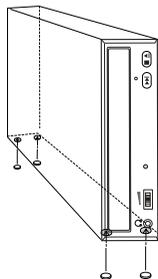
汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

メディア読み込み時のご注意

偏重心、ソリ、キズ、変形など異常なメディアを使用しないでください。最悪の場合、ドライブ内部でメディアが破損することがあり、危険です。

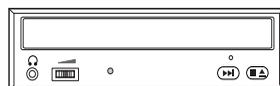
設置方向について

設置の際には本製品が下図のような方向になるようにしてください。



縦置きの場合

図のように付属のゴム足を底面の
4カ所に貼り付けてください。

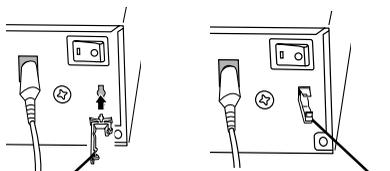


横置きの場合

ミニクランプの取り付け

ACアダプタ引き抜け防止のため、以下の手順で付属のミニクランプを取付けてください。

ミニクランプを本製品背面のミニクランプ取付け穴に水平に差込み垂直に回転させ固定します。

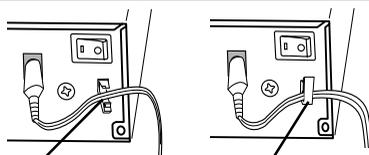


水平に差し込みます。

回転させて固定します。

本製品に接続したACアダプタのコードをミニクランプに通し、口を閉じます。

ACアダプタのコードを
ミニクランプの間に通
します。

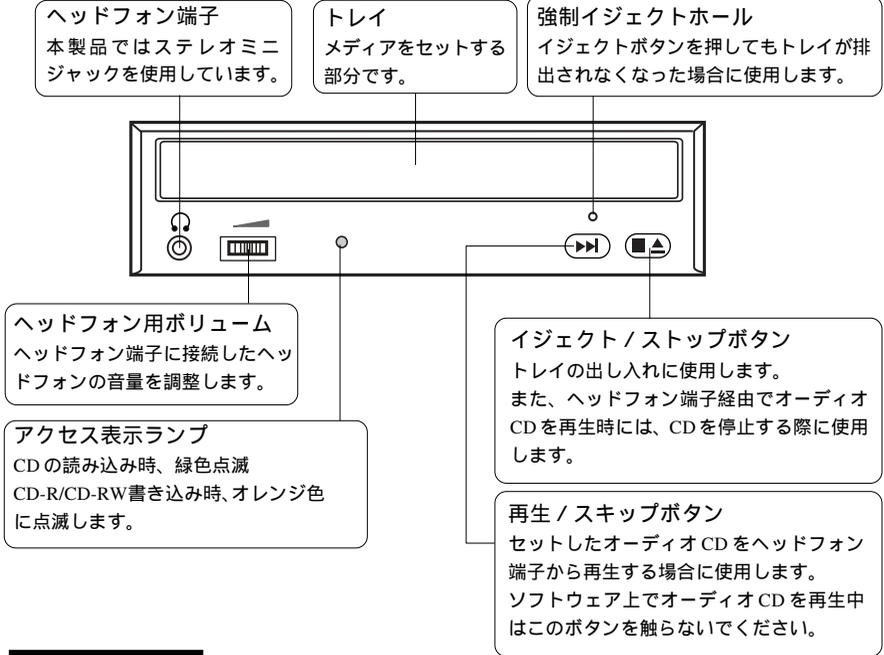


口を閉じます

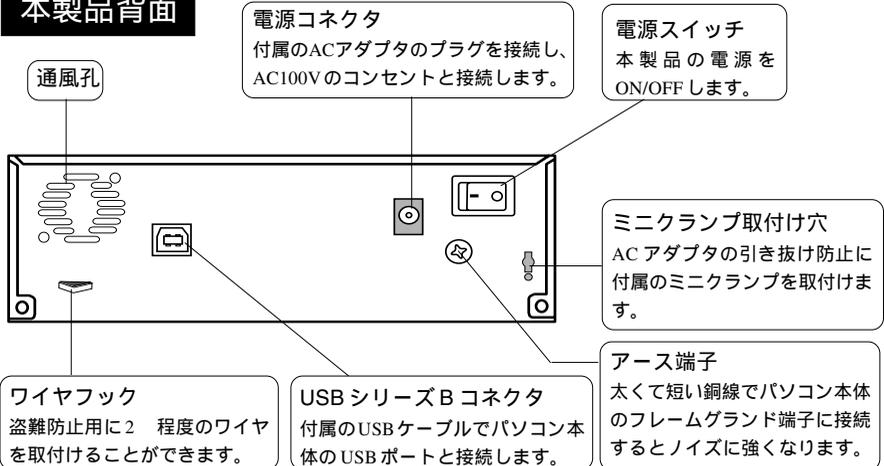
このようにミニクランプを取付けるとACアダプタが引き抜けにくくなります。ただし、落下等、非常に強い衝撃などによる引き抜けを防止できるというわけではありません。取扱いには十分ご注意ください。

1.3 各部の名称

本製品前面



本製品背面



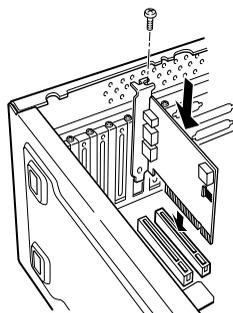
第2章 接続について

2.1 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。（その場合の書き込み/読み込み速度は最大8倍速相当に制限されます。）



USB 2.0のインターフェイスボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCIバス用USB 2.0インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus対応USB 2.0インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM - CUSB2	CardBus	インターフェースカード単体

2.2 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

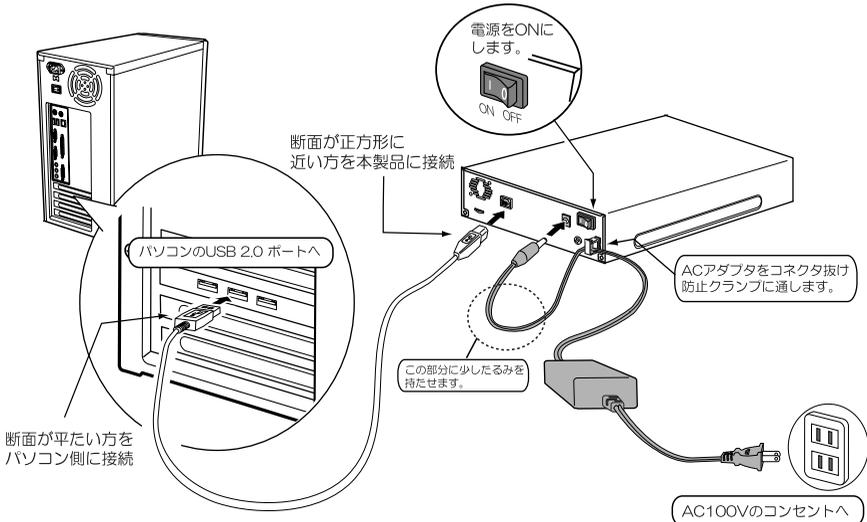
この時、Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログオンしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrators」等)。

接続手順(下図参照)

付属のACアダプタを本製品背面の電源コネクタに接続し、電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。ACアダプタのコードはミニクランプで固定してください。接続できたら背面の電源スイッチで電源をONにしてください。

付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。

- ・本製品側とUSBシリーズBコネクタ(正方形に近いコネクタ)を接続、
- ・パソコン側とUSBシリーズAコネクタ(平たいコネクタ)を接続します。



上の図はパソコンの拡張スロットへ増設したコネクタへ接続した場合の例です。パソコン本体にポートが標準装備されている場合には、そちらのポートを使用しても問題はありません。

注意

- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源をONにしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 High-Speed対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
USB 1.1ポートへ接続し使用する場面なるべく本製品付属のものかUSB 2.0High-Speed対応ケーブルをご使用ください。
- ・本製品をUSB 2.0で 사용되는場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0拡張ポートへ接続してください。標準搭載されているUSB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合CD-R/CD-RWメディアへの書き込み・読み込み速度は最大8倍速相当となります。
- ・USBハブを介しての接続はおやめください。正常に書き込み、読み込みができなくなります。

2.3 接続結果の確認

Windows 98 (Second Edition含む)をご使用の方は接続後USBドライバのインストールをおこないます。次ページ「2.4 USBドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP , Me , 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識されWindowsの標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込みの準備をします。「2.5 ソフトウェアのインストール」へお進みください。



Windows XPで表示されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で表示されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.4 USB ドライバのインストール

Windows 98 (Second Edition 含む) のみ

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内部の CD-ROM ドライブに本製品付属の「Software Pack」CD-ROM をセットしてください。
ここでセットアップランチャーが自動起動した場合は、閉じてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のよう
に入力して

Q:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「Software Pack」CD-ROM がセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



ドライブ名

2.4 USBドライバのインストール

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でUSBドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込みの準備をします。「2.5 ソフトウェアのインストール」へお進みください。
アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



2.5 ソフトウェアのインストール

接続後、本製品はCD-ROMドライブ（リーダ）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みはできません。

CD-R、CD-RWメディアへの書き込みには専用のソフトウェアを使用する必要があります。以下の手順で付属のCD-R/RWライティングソフトウェア「WinCDR Lite」をインストールしてください。

「WinCDR Lite」のインストール

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。

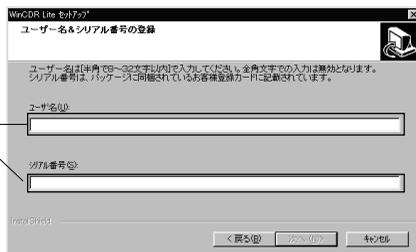
このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「Software Pack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザ名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザ名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。



- ・ ユーザー名は半角で 8 文字から 32 文字までの英数字で入力してください。
- ・ ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号（株式会社アップリックスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されている PDF 形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR Lite のユーザーガイドは PDF ファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDF ファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

！ ご注意

メディアへの書き込みを行う場合、必ず本製品を接続してから、ライティングソフトウェアを起動してください。ライティングソフトウェアを起動後に本製品を接続すると、ライティングソフトウェア側から本製品が認識されない場合があります。

第3章

取り扱いについて

3.1 メディアのセット/取り出しについて

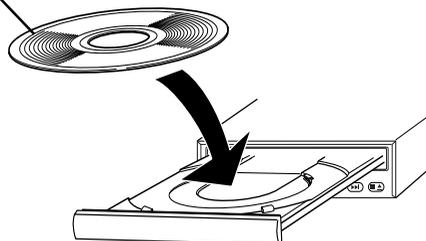
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

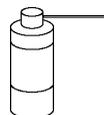
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上に出します。



！ ご注意

- ・本製品はトレイ排出時、はじめに勢い良く排出され、半分くらい出た所からゆっくりになります。これは本製品の仕様です。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。



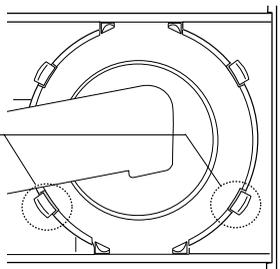
ダストクリーナ

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

! 縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

メディアが取り出せなくなった場合

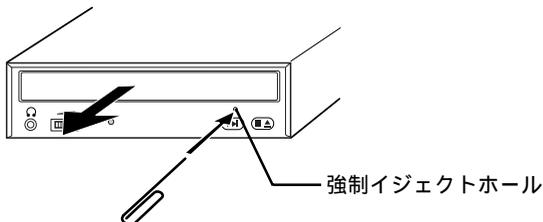
3

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプを確認してください。点滅していない場合には、セットしているメディア内のファイルをすべて終了して、本製品をパソコンから取り外し(「3.2 本製品を取り外す場合は」参照) 本製品の電源を入れなおしてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制的に排出(強制イジェクト)することができます。これを行なうときには、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

大きめのクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押ししてください。

トレイが2～3 cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



! ご注意

- ・ パソコン本体の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・ Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態では、トレイを排出することができません。

3.2 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

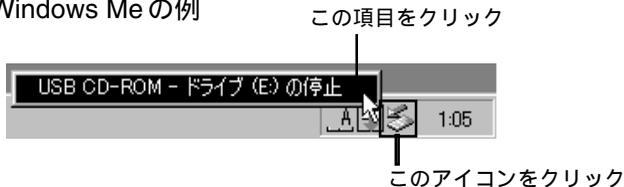
- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

Windows XP, Me, 2000の場合は取り外しの前にアンプラグという操作を行わなくてはなりません。以下に手順を記しますので、アンプラグを行って上で、取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。）

Windows Me の例



Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

3.2 本製品を取り外す場合は

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。
OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

3

Point ポイント

- このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・USB 2.0インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用OSのバージョンに問題はありますか？
- ・ご使用のOS、パソコン本体は本製品の動作条件に適合していますか？「4.4 使用環境について」を参照してご確認ください。
- ・BIOSのセットアップでUSBが「Disabled（無効）」となっていないかご確認ください。
- ・本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。本製品はハブ経由での接続では正しく動作しません。
- ・「4.2 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されていることを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

特定のCD-ROMにアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？本製品では、Macintosh用のCD-ROM（HFSフォーマット）はアクセスできません。
- ・そのメディアはオーディオCDではありませんか？通常のCD-ROMのようにアクセスできない場合はメディアプレーヤーなどで再生してください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「3.1 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

USB 2.0インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用しているUSBケーブルは本製品付属のもの、またはUSB 2.0 High-Speed対応のものですか？
- ・USBハブ経由で本製品を接続していませんか？本製品はUSBハブを介して接続すると正常に動作しません。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「4.4 使用環境について」をご参照ください。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

WinCDR 上の、「レコーダ選択画面」で「仮想レコーダ」のみが表示され、レコーダ名が表示されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「4.2 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることを確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? LCW USB Device」と表示されていれば、それが誤まって認識されたドライバです。
4. 「? LCW USB Device」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

その他：ホームページについて

弊社、および株式会社アプリックスではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

4.2 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると、Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

Windows XP , 2000

「DVD/CD-ROM ドライブ」の一覧に、「BTC BCE5232IM USB Device」が追加されます。

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の一覧に、「USB 大容量記憶装置デバイス」が追加されます。

Windows Me

「CD-ROM」の一覧に、「BTC BCE5232IM」が追加されます。

「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の一覧に、「USB 大容量記憶装置デバイス」が追加されます。

「記憶装置」の一覧に、「USB CD-ROM」が追加されます。

Windows 98

「CD-ROM」の一覧に、「BTC BCE5232IM」が追加されます。

「ハードディスクコントローラ」の一覧に、「Logitech USB Mass-Storage Class Miniport Driver」が追加されます。

「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の一覧に、「Logitech USB Mass-Storage Class WDM Driver」が追加されます。

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LCW USB Device」という項目があるかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows Me、98 の場合、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

4.3 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

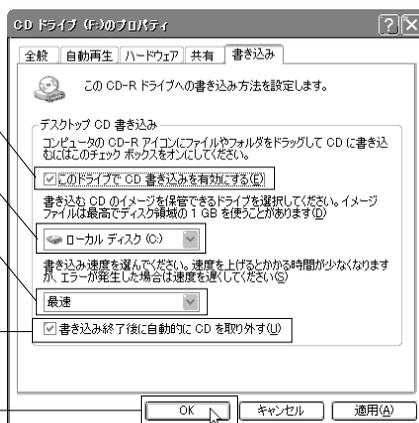
1.、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。

2. CD イメージの保管先を指定します。

3. 書き込み速度を選択します。

4. 必要に応じてチェックを入れます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

4.4 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USBポート(USB 1.1はUHCI準拠。)を搭載している機種。(OHCI準拠のUSB1.1ポートは保証外とさせていただきます。)を搭載している機種。

CD-R/CD-RWメディアへ10倍速以上で書き込みを行う場合はパソコン本体にUSB 2.0インターフェースが装備されていること。

Celeron® 300MHz以上のCPUを搭載していること。

64MB以上のメモリを搭載していること。

ご注意

- ・USB 2.0インターフェースカードを使用して本製品を使用する場合、CD-R/RW書き込み時には、その他のPCカードを同時に使用しないでください。
- ・すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。
- ・本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。

対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 /48 倍速

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)

(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) ()

32 倍速書き換えには三菱化学(株)のメディアをご使用ください。

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RW メディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応した CD-R/CD-RW メディアをご使用ください。

CD-RW メディアには

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

の3種類があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度により、使用できるメディアが異なりますので、その速度に対応した CD-RW メディアをご使用ください。詳細は8ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

ハードディスク

WinCDR Lite でCDバックアップ機能「ディスクをコピーする」を使用する場合、ハードディスク上にバックアップ元CDのイメージデータを展開する必要があります。

このハードディスクは以下のような仕様を満足するものでなければなりません。

空き容量：	800MB 以上
平均シークタイム：	13ms 以下
インターフェース：	FastSCSI/UltraSCSI、ATA (E-IDE)

Point ポイント

上記の用途に使用するハードディスクの中に多数のファイルが存在しファイルの断片化が起きていると、データ転送が間に合わなくなることがあります。既存のハードディスクを使用する場合は、データの最適化を行ってください。(この作業は、例えばWindows Me、98では「デフラグ」ユーティリティを使用して行います。)

可能であればハードディスク上に800MB程度の専用パーティションを作成し、そこには他のデータを保存しないようにすることを推奨します。

4 . 5 その他

CD-RW メディアの読み取り互換性について

CD-RWメディアは書き換え型のメディアであるため、一部に未対応の読み取り装置があります。弊社(ロジテック株式会社)から発売されている製品のうち、以下の製品ではCD-RWメディアを読み取ることができませんのでご注意ください。(最新機種に関する情報は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。)

- ・20倍速以下のCD-ROMユニット
- ・LCD-Z40AK
- ・CD-ROM 6倍速以下のPD/CD-ROMユニット
- ・LCW-7**、LCW-D7**、LCW-M7** で始まるCD-Rユニット
- ・LCW-8**、LCW-D8** で始まるCD-Rユニット
- ・LCW-1000

! ご注意

他メーカーのCD-ROMドライブ、パソコン内蔵のCD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応しているかどうかについては、各ドライブメーカー、またはパソコンメーカーにお問い合わせください。

ハードウェア仕様

機種名		LCW - B52U2/ W	
ドライブメーカー		BEHAVIOR TECH COMPUTER CORP. (BTC)	
設定可能な書き込み速度 *1	CD - R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD - RW	32倍速 / 24倍速 / 20倍速 / 16 倍速 12倍速 / 10倍速 / 4 倍速	
読み込み速度 *1	CD-ROM	最大 52 倍速	
	CD- R CD- RW	最大 40 倍速	
インターフェース		USB 2.0 High- Speed (USB 1.1互換)	
コネクタ形状		USB シリーズ B	
ローディング方式		トレイ方式	
ヘッドフォン出力		0.6 V	
バッファメモリ		2MB	
平均シークタイム		90 ms	
最大データ転送速度 (IF) *2		480Mbps (High- Speed) 12Mbps (Full- Speed)	
メディアとの最大データ転送速度 *2		7800KB/s	
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 70%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
入力電圧		AC100 V ± 10% 50 / 60 Hz	
消費電力		19 W *4	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	150 × 44 × 243 mm *5	
質量		1.4 kg *6	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 USB 1.1 接続時は最大 8 倍速。

*2 理論値

*3 ただし、結露なきこと。

*4 AC アダプタ含む

*5 横置き時、突起部を除く。

*6 本体のみ。

